



平塚信用金庫の 中は？

地域の人と密着!

地元の金融機関の平塚信用金庫について知りたい！あまり入ったことがない信用金庫で、どんなことをしているのか、総務課の山田さんにお話を聞きました。

豆記者



武白菜子

ここが平塚信用金庫です

硬貨を束ねる機械もあって、百円玉と十円玉などの硬貨を入れると、一瞬で筒型にまとまってしまうしました。八幡支店では、現金自動預払機(ATM)の裏側

わたしたちが住んでいる「平塚」という地名がついた金融機関「平塚信用金庫」。平塚とつくから、平塚市にあるだけだと思っていました。が、厚木市や座間市などにも支店があるそうです。

信用金庫の仕事といえば、お金を預けたり、貸したりすることがまず思い浮かびます。本部では、支店や他の銀行とのお金のやり取りをしています。一日に十億円のお金が動く時もあるそうです。

お札を次々、数えて束ねる機械がありました。実際に一千万円という大金を見せてもらって、びっくり。すごい厚さでした。バラバラだった

また、職員の方が一万円札をたくさん持って、扇型に開いて数える”技”も見せてもらいました。わたしも挑戦しましたが、難しくして、できませんでした。

お金以外の仕事の話もいろいろ聞きました。湘南ベールマレーのサポートをしていて、ベールマレーの女子ソフトボールチームの選手とマネージャーが平塚信用金庫



数えるの、難しいな～

も見せてもらいました。かぎがたくなさんかけてあって、かぎを順番に外していかないと、お金を取り出すことはできません。厚い扉で守られた大きな耐火金庫もあって、わたしたちが預けたお金を大切にしてくれているんだ、と感激しました。



がっちりした金庫扉ですね

ほかにも、ボランティア活動として、海岸のごみ拾いをしたり、献血に協力したりしているそうです。地域の人と密着したいろいろなことをしているんだなあ、と思いました。



高選手の手、わあ、大きい!

庫で働いているそうです。実際に、エースピッチャーの高選手と握手をしたら、とても手が大きくて、びっくりしました。手が大きいほうが、速い球を投げやすいそうです。